

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
株式会社萬味ホールディングス萬味グループ本社新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE柏2016(v2.1)

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境			0.34		-		2.9		
1 音環境		2.6	0.15	-	-		2.6		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-		3.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		2.8	0.25	-	-		2.8		
3.1 屋光利用		2.4	0.30	-	-				
1 屋光率		2.0	0.60	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	3.0	-				
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-				
1 屋光制御		3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-				
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-		3.3		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	内装材料に規制対象外もしくはF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		2.3	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-				
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.7		
1 機能性		2.2	0.40	-	-		2.2		
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観		1.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース	広いリフレッシュスペースに加え、自動販売機を設置している	5.0	0.33	-	-				
3 内装計画		1.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-		3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床シート・カーペット・クロス=20年、ボード類=30年	4.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種のうち2種以上にB以上を採用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高 = 4.220m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比 = 0.15	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.36</b>	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI <sub>m</sub> = 0.74	5.0	0.07	-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>				3.0	0.12	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.74	3.6	0.58	-	3.6
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.23	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				3.0	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.20	-	3.4
1.1	節水	主要な水栓に自動水栓を採用している	4.0	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.9</b>	0.60	-	-	<b>2.9</b>
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能である。OAフロアを採用している	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			標準計算より 換算スコア = 3.6	3.6	0.33	-	3.6
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.4	0.33	-	3.4
<b>2.1 大気汚染防止</b>			ガスの代わりに電気を採用している	5.0	0.25	-	-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				3.0	0.50	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				2.7	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	利用しやすい位置に駐輪場を設置。荷捌用車両の駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	